|  |
| --- |
| **第１章　はじめに** |

**１－１ 策定の背景と趣旨**

　碧南市水道事業は、昭和３１年７月に昭和４５年を目標年次とし、給水人口３２，５００人、日最大取水量６，０００m3として創設の認可を受けました。同年、工事に着手し昭和３３年２月には一部地域において供用を開始しました。

創設から現在まで６０年以上が経過し、その間に３度の拡張事業、県営水道からの受水への切り替え、配水池の増設事業を経て、給水人口７３，０１９人、給水普及率は９９．８８％（平成３０年度末現在）となり、ほとんどの市民が利用できるまで普及しています。

碧南市では、平成２１年１２月に『碧南市水道ビジョン』を策定し、“安全・安心を未来につなぐ”を基本理念に掲げ、現在まで事業を進めています。

　しかしながら、今日の水道を取り巻く環境は、全国的な傾向として「給水人口・給水量・料金収入の減少」、「水道施設の更新需要の増大」、「職員数減少によるサービスレベルへの影響」、「東日本大震災を踏まえた危機管理対策」など、この１０年で大きく変化しています。

また、厚生労働省では、水道を取り巻く環境の変化に対応するため、これまでの「水道ビジョン」（平成１６年策定、平成２０年改訂）を全面的に見直し、「新水道ビジョン」（平成２５年３月）を策定しました。この「新水道ビジョン」では、「持続」、「安全」、「強靭」の３つの視点から水道の理想像、目指すべき方向性、そしてその実現方策を示しています。

このような背景から、厚生労働省の「新水道ビジョン」を踏まえ、平成21年12月に策定した『碧南市水道ビジョン』を全面的に改訂します。

**１－２ 目標年度**

　本ビジョンは、中長期的な視野にたった将来ビジョンであることを考慮し、２０２９年度（令和１１年度）を目標年度とします。